

## 検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。  
この度、下記の項目につきまして、検査内容・報告形式の変更及び検査の受託中止を  
させていただくことになりましたのでご案内申し上げます。  
先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒宜しくご了承の程お願い申し上げます。

謹白



### 検査内容の変更 (1ページ)

依頼コードNo.	項目名
2301→7968	カルシトニン(CT)
3588→7969	オステオカルシン(OC;BGP)
2630	AMH Gen II(抗ミュラー管ホルモン)
2910	PIVKA-II定量(DCP)
752→11097	抗核抗体(ANA)/蛍光抗体法半定量
1743	抗Scl-70抗体定量/FEIA
709→7396	寒冷凝集反応
3002	Dダイマー
3056→7398	トロンビン・アンチトロンビン複合体(TAT)
409	尿素窒素(UN)
459→12733	リポ蛋白分画/アガロース法
574	ビタミンB <sub>1</sub> (チアミン)
638	セロトニン(5-HT)
9217	CYP2C19 2項目セット
7357	CYP2C19*2(G681A)
7358	CYP2C19*3(G636A)
906	不規則性抗体
4238	レベチラセタム
175	17-KGS(総)
3010	17-KGS分画
3821	デヒドロエピアンドロステロン(DHEA)
7480	RPR法 半定量-髄液
7212	TP抗体 半定量-髄液

依頼コードNo.	項目名
4925	コレステリルエステル転送蛋白(CETP)定量/EIA
9216	CYP2C9 2項目セット
7355	CYP2C9*2(G430T)
7356	CYP2C9*3(A1075C)
7467	ALDH2(E487K G1510A)
3455	MDR1(C3435T)
3456	MDR1(G2677T,A)
9234	ミトコンドリア遺伝子3項目セット(レーベル病)
5841	ミトコンドリア遺伝子3460変異(mtDNA変異3460)
5842	ミトコンドリア遺伝子11778変異(mtDNA変異11778)
5843	ミトコンドリア遺伝子14484変異(mtDNA変異14484)
4022	ミトコンドリア遺伝子3243変異(mtDNA変異3243)
9229	LDLレセプター遺伝子変異6項目セット
5332	LDLレセプター遺伝子変異E119K
5333	LDLレセプター遺伝子変異C317S
5334	LDLレセプター遺伝子変異1847T→C
5335	LDLレセプター遺伝子変異L547V
5336	LDLレセプター遺伝子変異P664L
5337	LDLレセプター遺伝子変異K790X
9230	コレステリルエステル転送蛋白(CETP) 遺伝子変異2項目セット
5726	コレステリルエステル転送蛋白(CETP) 遺伝子変異1452G→A変異
5727	コレステリルエステル転送蛋白(CETP) 遺伝子変異D442G変異

変更日 2016年3月28日(月)受付分より



## 検査の受託中止 (18 ページ)

依頼コードNo.	項目名	依頼コードNo.	項目名
6343	甲状腺刺激ホルモン(TSH)	9227	CYP2A6 6項目セット
598	遊離サイロキシン(FT <sub>4</sub> )	1972	CYP2A6*1B*7*8*10(3'UTR2A7)
3738	遊離トリヨードサイロニン(FT <sub>3</sub> )	1973	CYP2A6*4(del)
593	サイロキシン(T <sub>4</sub> )	1974	CYP2A6*7*10(T1412C)
591	トリヨードサイロニン(T <sub>3</sub> )	1981	CYP2A6*8*10(G1454T)
2301	カルシトニン(CT)	1982	CYP2A6*9(T-48G)
3588	オステオカルシン(OC;BGP)	1983	CYP2A6*11(T670C)
3017	GAT(癌関連ガラクトース転移酵素)	9222	CYP2B6 5項目セット
856	Viewアレルギー36	1611	CYP2B6*2(C64T)
755	LEテスト	1612	CYP2B6*8*13(A415G)
752	抗核抗体(ANA) / 蛍光抗体法半定量	1613	CYP2B6*6*7*9*13(G516T)
1661	抗Sm抗体定量/FEIA	1614	CYP2B6*4*6*7*13(A785G)
709	寒冷凝集反応	1615	CYP2B6*5*7(C1459T)
3056	トロンビン・アンチトロンビン複合体(TAT)	9223	CYP1A2 2項目セット
223	虫卵/セロテープ法	3207	CYP1A2*1C(G-3860A)
459	リポ蛋白分画/アガロース法	3208	CYP1A2*1F(C-163A)
4245	IFN- $\gamma$ 産生能	9218	NAT2 3項目セット
4233	IL-2産生能	3447	NAT2*5(T341C)
5729	ミオシリン(MYOC)遺伝子変異5項目セット	3448	NAT2*6(G590A)
		3449	NAT2*7(G857A)

最終受託日 2016年3月31日(木) 受付分まで

## 容器の変更 (19 ページ)

容器記号	容器名	適用検査項目
B-34	遮光EDTA管(真空採血管)	ビタミンB <sub>1</sub> (チアミン)、ビタミンB <sub>2</sub> (リボフラビン)-全血
B-35	全血凍結検体用(真空採血管)	シクロスポリン、タクロリムス、セロトニン

変更日 2016年4月より順次変更

## 検査内容の変更

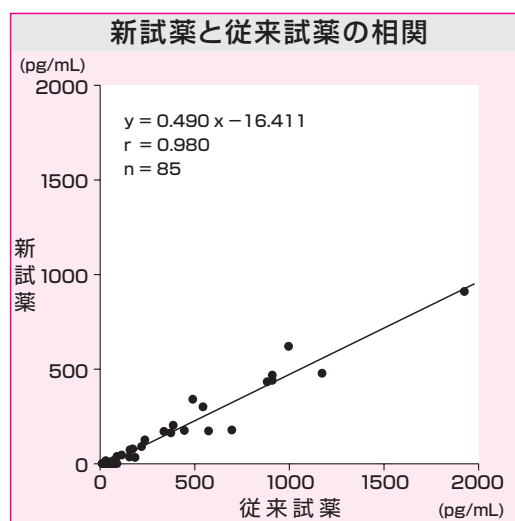
《変更日：2016年3月28日(月) 受付分より変更》

### ● カルシトニン(CT)

従来試薬販売中止のため、国際標準品を用いた測定試薬へ変更させていただきます。  
 なお、この変更に伴い、依頼コードNo.、所要日数、検査方法、基準値、報告範囲、報告桁数を変更させていただきます。

	新	従来															
依頼コードNo.	7968	2301															
検査項目名	カルシトニン	同左															
統一コード	4C035-0000-023-053	4C035-0000-023-001															
検査材料	血清	同左															
検体必要量	0.5mL	同左															
容器	B-1→S-1	同左															
検体の保存方法	凍結	同左															
所要日数	3~5	4~6															
検査方法	ECLIA法	RIA・2抗体法															
基準値	男性：5.15以下 女性：3.91以下	<table border="1" style="font-size: small;"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>男性</th> <th>女性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20~29</td> <td>34.4~89.2</td> <td>29.4~68.6</td> </tr> <tr> <td>30~49</td> <td>30.9~120.1</td> <td>17.1~58.7</td> </tr> <tr> <td>50~69</td> <td>16.6~95.4</td> <td>21.6~54.0</td> </tr> <tr> <td>70~90</td> <td>26.2~49.0</td> <td>17.0~55.8</td> </tr> </tbody> </table>	年齢	男性	女性	20~29	34.4~89.2	29.4~68.6	30~49	30.9~120.1	17.1~58.7	50~69	16.6~95.4	21.6~54.0	70~90	26.2~49.0	17.0~55.8
年齢	男性	女性															
20~29	34.4~89.2	29.4~68.6															
30~49	30.9~120.1	17.1~58.7															
50~69	16.6~95.4	21.6~54.0															
70~90	26.2~49.0	17.0~55.8															
報告単位	pg/mL	同左															
報告範囲	0.50未満~最終値	12.5以下~最終値															
報告桁数	小数第2位	整数															
検査実施料/判断料	143点/144点(生化学的検査(Ⅱ))	同左															
備考	ビオチンを投与している患者(1日の投与量5mg以上)からの採血は、投与後、少なくとも8時間以上経過してから実施してください。																

カルシトニンの負荷検査項目は受託数僅少のため、2016年版総合検査案内の負荷コード一覧から削除させていただきます。



**【検査方法の参考文献】**

北川 亘, 他: 医学と薬学 72, 97-108, 2015.

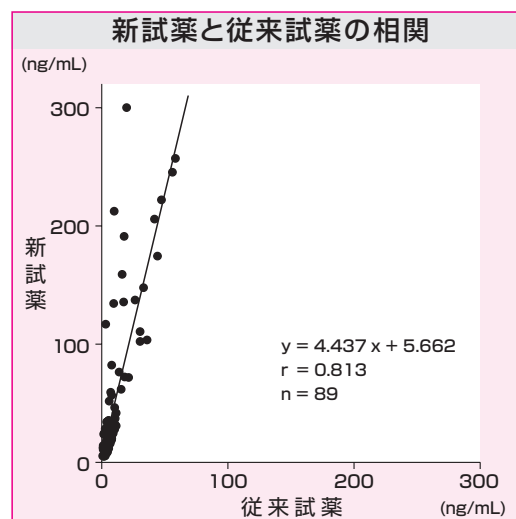
自社検討資料

## ● オステオカルシン(OC;BGP)

従来試薬販売中止のため測定試薬を変更させていただきます。

なお、この変更に伴い、依頼コード No.、検体必要量、検査方法、基準値、報告範囲を変更させていただきます。

	新	従来
依頼コード No.	7969	3588
検査項目名	オステオカルシン	同左
統一コード	4Z280-0000-023-053	4Z280-0000-023-006
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.5mL	0.4mL
容器	B-1→S-1	同左
検体の保存方法	凍結	凍結、溶血注意
所要日数	3~5	同左
検査方法	ECLIA法	IRMA法(RIA・固相法)
基準値	男性 18~30歳未満 24.0~70.0 30~50歳未満 14.0~42.0 50~70歳未満 14.0~46.0 女性 閉経前(20歳以上) 11.0~43.0 閉経後(HRTなし) 15.0~46.0	3.1~12.7
報告単位	ng/mL	同左
報告範囲	0.5未満~最終値	1.0以下~最終値
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料/判断料	170点/144点(生化学的検査(Ⅱ))	同左
備考	ビオチンを投与している患者(1日の投与量5mg以上)からの採血は、投与後、少なくとも8時間以上経過してから実施してください。	溶血は低値の影響があります。



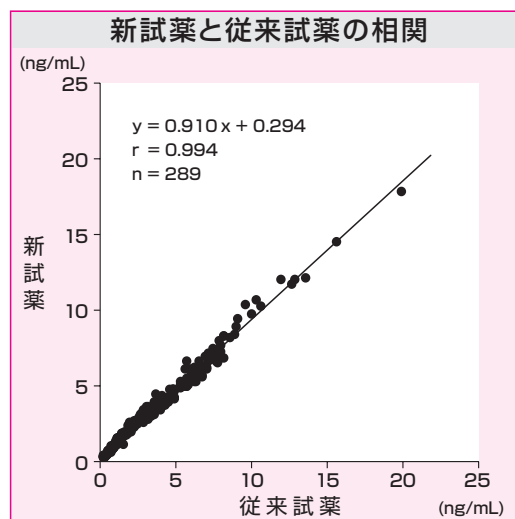
自社検討資料

## ● AMH Gen II(抗ミュラー管ホルモン)

従来試薬販売中止のため測定試薬を変更させていただきます。

なお、この変更に伴い、検査項目名、検体必要量、検体の保存方法、所要日数、検査方法、報告範囲を変更させていただきます。

	新	従来
依頼コードNo.	2630	同左
検査項目名	AMH/CLEIA	AMH GenII
統一コード	4F100-0000-023-052	4F100-0000-023-023
検査材料	血清、単独検体	同左
検体必要量	0.5mL	0.3mL
容器	B-1→S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	凍結
所要日数	2~3	3~5
検査方法	CLEIA法	EIA法
基準値	なし	同左
報告単位	ng/mL	同左
報告範囲	0.02未満~最終値	0.16未満~最終値
報告桁数	小数第2位	同左
検査実施料/判断料	未収載	同左



自社検討資料

### 【検査方法の参考文献】

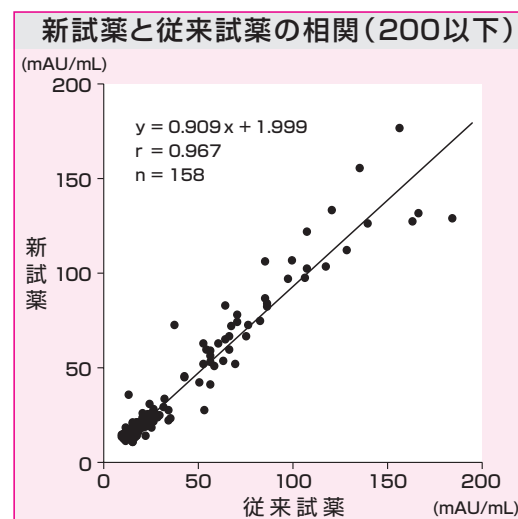
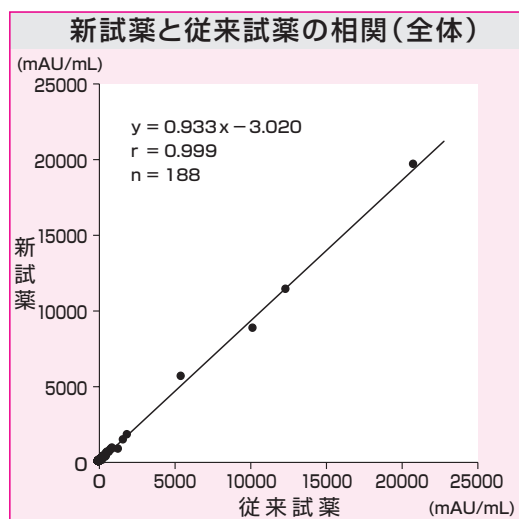
柳田小百合, 他: 医学と薬学 72, 1095-1101, 2015.

## ● PIVKA-II定量(DCP)

測定精度の向上を期し、検査試薬を変更させていただきます。

なお、この変更に伴い、検査方法、報告範囲を変更させていただきます。

	新	従来
依頼コードNo.	2910	同左
検査項目名	PIVKA-II/CLIA	PIVKA-II定量/EC
統一コード	5D520-0000-023-051	5D520-0000-023-053
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.6mL	同左
容器	B-1→S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	2~3	同左
検査方法	CLIA法	ECLIA法
基準値	40未満	同左
報告単位	mAU/mL	同左
報告範囲	6未満~最終値	10未満~75000以上
報告桁数	整数	同左
検査実施料/判断料	150点/144点(生化学的検査(Ⅱ))	同左
備考	チャート報告書	同左



自社検討資料

### 【参考文献】

田中一平, 他: 細胞 47, 561-565, 2015.

● 抗核抗体(ANA) / 蛍光抗体法半定量

従来試薬と同等の性能を有する測定試薬に変更させていただきます。

なお、この変更に伴い、依頼(報告)コード No.、基準値、報告形式(報告範囲)を変更させていただきます。

	新	従来
依頼(報告)コード No.	11097(親) (子)21611 抗核抗体抗体価 (子)21612 HOMOGENEOUS型 (子)21613 SPECKLED型 (子)21614 NUCLEOLAR型 (子)21615 CENTROMERE型 (子)21616 PERIPHERAL型 (子)21617 核膜型 (子)21618 PCNA型 (子)21619 PCNA様型 (子)21620 GRANULAR型 (子)21621 細胞質型	752(親) (子)4395 HOMOGENEOUS (子)4396 SPECKLED (子)4397 NUCLEOLAR (子)4398 CENTROMERE (子)4399 PERIPHERAL (子)4444 核膜型 (子)4445 PCNA型 (子)4446 PCNA様型 (子)4458 細胞質型 (子)4776 紡錘体型 (子)4777 ゴルジ体型
検査項目名	抗核抗体半定量/蛍光抗体法	同左
統一コード	5G010-0000-023-162	同左
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.3mL	同左
容器	B-1→S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	2~4	同左
検査方法	蛍光抗体法	同左
基準値	40倍未満、(-)	80倍未満、(-)
報告単位	倍	同左
報告形式 (報告範囲)	抗核抗体半定量/FA(設定なし)	抗核抗体半定量/FA(40未満~最終値)
	抗体価(40未満~10240以上)	設定なし
	HOMOGENEOUS型(40未満~10240以上)	HOMOGENEOUS(40未満~最終値)
	SPECKLED型(40未満~10240以上)	SPECKLED(40未満~最終値)
	NUCLEOLAR型(40未満~10240以上)	NUCLEOLAR(40未満~最終値)
	CENTROMERE型(40未満~10240以上)	CENTROMERE(40未満~最終値)
	PERIPHERAL型(40未満~10240以上)	PERIPHERAL(40未満~最終値)
	核膜型(40未満~10240以上)	核膜型(40未満~最終値)
	PCNA型(40未満~10240以上)	PCNA型(40未満~最終値)
	PCNA様型(40未満~10240以上)	PCNA様型(40未満~最終値)
GRANULAR型(40未満~10240以上)	設定なし	
細胞質型(-)、(+)	細胞質型(-)、(+)* 紡錘体型(-)、(+)* ゴルジ体型(-)、(+)*	
報告桁数	整数	同左
検査実施料/判断料	110点/144点(免疫学的検査)	同左

\*従来法の「細胞質型」「紡錘体型」「ゴルジ体型」は、まとめて広義の「細胞質型」と報告いたします。

一致率表

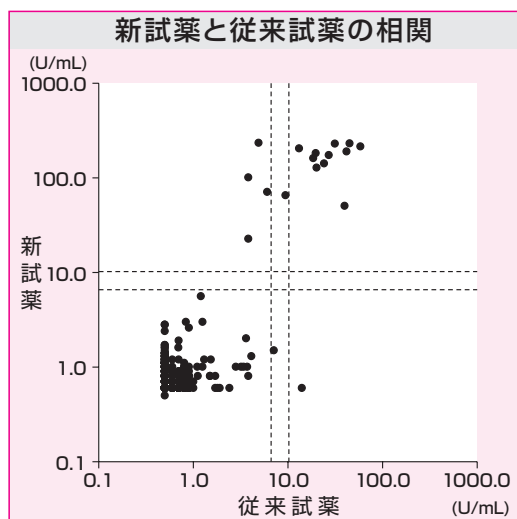
(n=145)

新	10240								1	1
	5120							2	2	2
	2560						2	6		
	1280				1	1	6	1		
	640			1	4	8				
	320		1		16		1			
	160	1	1	15						
	80	4	10							
	40	2	4	1						
	40未満	53								
倍	40未満	40	80	160	320	640	1280	2560	5120	10240
		従来								

## ● 抗Sci-70抗体定量

従来試薬と同等の性能を有する同一メーカーの改良試薬に変更させていただきます。  
この変更に伴い、報告範囲を変更させていただきます。

	新	従来
依頼コード No.	1743(親) (子)1745 判定 (子)1746 定量値	同左
検査項目名	抗Sci-70抗体定量	同左
統一コード	5G085-0000-023-023	同左
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.3mL	同左
容器	B-1→S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	2~3	同左
検査方法	FEIA法	同左
基準値	7.0未満	同左
判定基準	(+): 10.0を超える (±): 7.0以上~10.0以下 (-): 7.0未満	同左
報告単位	U/mL	同左
報告範囲	0.6未満~240以上	0.5未満~320以上
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料/判断料	162点/144点(免疫学的検査)	同左



		従来			
		-	±	+	合計
新	+	4	1	11	16
	±	0	0	0	0
	-	213	1	1	215
合計		217	2	12	231

陽性一致率 91.7%  
陰性一致率 98.2%  
判定一致率 97.0%

自社検討資料

### 【検査方法の参考文献】

濱口儒人, 他: 医学と薬学 72, 1907-1911, 2015.



## ● 寒冷凝集反応

基準値の見直しにより、参考文献に準じた基準値へ変更させていただきます。  
この変更に伴い、依頼コード No. を変更させていただきます。

	新	従来
依頼コード No.	7396	709
検査項目名	寒冷凝集反応	同左
統一コード	5E105-0000-023-102	同左
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.3mL	同左
容器	B-1→S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	3~4	同左
検査方法	HA法	同左
基準値	64倍未満	32倍未満
報告単位	倍	同左
報告範囲	4未満~最終値	同左
報告桁数	整数	同左
検査実施料/判断料	11点/144点(免疫学的検査)	同左

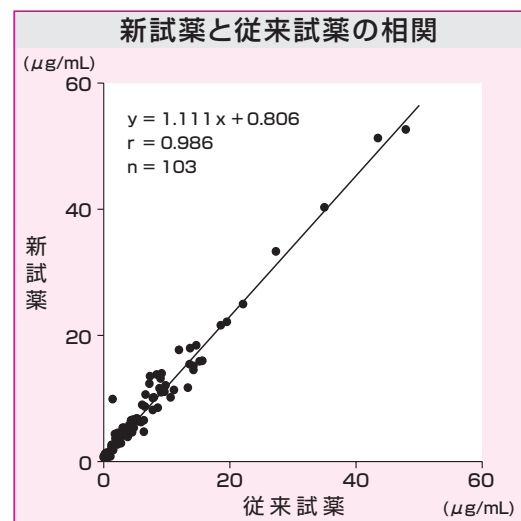
### 【参考文献】

金井正光：臨床検査法提要（改訂第34版），920-921，2015。（金原出版）

## ● Dダイマー

測定試薬を従来試薬と同等の性能を有し、検査精度が向上した試薬に変更させていただきます。  
 なお、この変更に伴う検査方法、基準値、報告単位等の変更はございません。

	新	従来
依頼コードNo.	3002	同左
検査項目名	Dダイマー	同左
統一コード	2B140-0000-022-062	同左
検査材料	血漿	同左
検体必要量	0.3mL	同左
容器	B-11→S-1	同左
検体の保存方法	凍結	同左
所要日数	2~3	同左
検査方法	ラテックス凝集法	同左
基準値	1.0以下	同左
報告単位	μg/mL	同左
報告範囲	0.5未満~最終値	同左
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料/判断料	143点/125点(血液学的検査)	同左

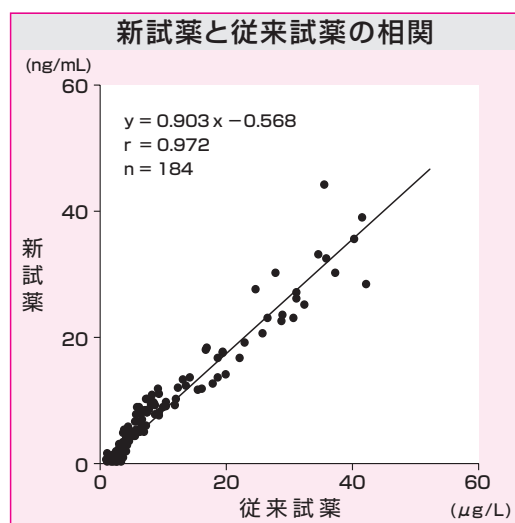


自社検討資料

## ● トロンビン・アンチトロンビン複合体(TAT)

測定試薬を従来試薬と同等の性能を有し、検査精度が向上した試薬に変更させていただきます。  
この変更に伴い、依頼コード No.、検査方法、基準値、報告単位、報告範囲を変更させていただきます。

	新	従来
依頼コード No.	7398	3056
検査項目名	TAT	同左
統一コード	2B210-0000-022-052	2B210-0000-022-023
検査材料	血漿	同左
検体必要量	0.4mL	同左
容器	B-11→S-1	同左
検体の保存方法	凍結	同左
所要日数	2~3	同左
検査方法	CLEIA法	EIA法
基準値	4.0未満	1.0~4.1
報告単位	ng/mL	μg/L
報告範囲	0.4未満~120.0以上	1.0未満~60.0以上
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料/判断料	194点/125点(血液学的検査)	同左

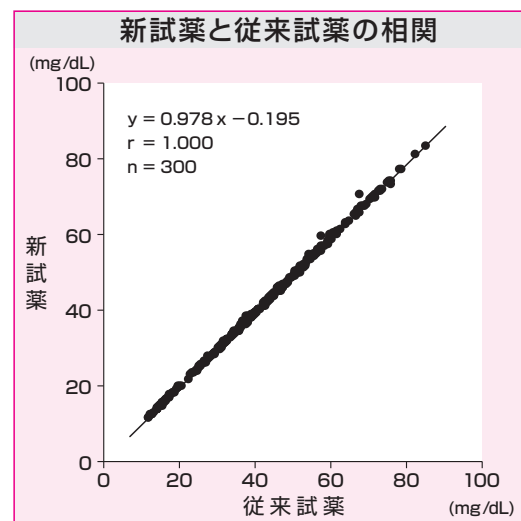


自社検討資料

## ● 尿素窒素 (UN)

測定試薬を従来試薬と同等の性能を有し、検査精度が向上した試薬に変更させていただきます。  
この変更に伴い、検査方法、報告範囲を変更させていただきます。

	新	従来
依頼コードNo.	409	同左
検査項目名	尿素窒素(UN)	同左
統一コード	3C025-0000-023-272	同左
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.5mL	同左
容器	B-1→S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	1~2	同左
検査方法	ウレアーゼ・GLDH・UV法	UV法(ウレアーゼUV法)
基準値	8.0~20.0	同左
報告単位	mg/dL	同左
報告範囲	0.4以下~2500.0	0.8以下~2500.0
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料/判断料	11点/144点(生化学的検査(I))	同左



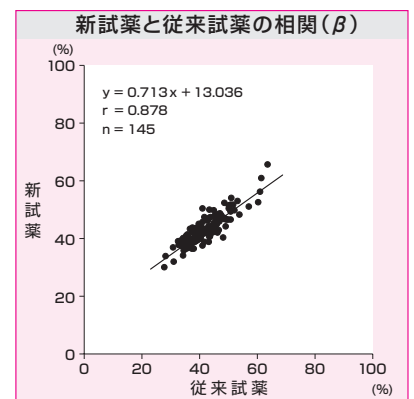
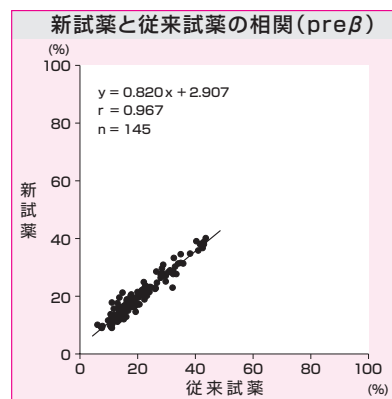
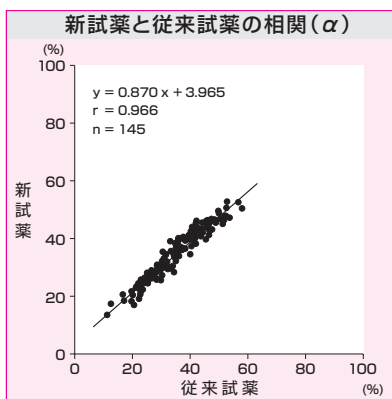
自社検討資料

## ● リポ蛋白分画/アガロース法

従来試薬販売中止のため測定試薬を変更させていただきます。

なお、この変更に伴い、依頼(報告)コード No.、基準値を変更させていただきます。

	新	従来
依頼(報告)コード No.	12733(親) (子)21795 アルファ (子)21796 プレベータ (子)21797 ベータ (子)21798 カイロミクロン (子)21799 プレベータ+ベータ (子)21800 MID-BAND	459(親) (子)6855 アルファ (子)6856 プレベータ (子)6857 ベータ (子)6858 カイロミクロン (子)6859 プレベータ+ベータ (子)6860 MID-BAND
検査項目名	リポ蛋白分画/アガロース	同左
統一コード	3F135-0000-023-233	同左
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.3mL	同左
容器	B-1→S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵、凍結不可	同左
所要日数	2~4	同左
検査方法	電気泳動法(アガロース膜)	同左
基準値	$\alpha$ M: 27~51 F: 33~53 pre $\beta$ M: 8~24 F: 7~21 $\beta$ M: 35~56 F: 34~52	$\alpha$ M: 25~50 F: 35~51 pre $\beta$ M: 8~32 F: 7~21 $\beta$ M: 33~55 F: 38~51
報告単位	%	同左
報告範囲	0~100	同左
報告桁数	整数	同左
検査実施料/判断料	49点/144点(生化学的検査(I))	同左
備考	空腹時に採血し血清分離後上清を冷蔵しご提出ください。	同左



自社検討資料

## ● ビタミンB<sub>1</sub>(チアミン)

容器変更に伴い、検体必要量を変更させていただきます。

なお、この変更に伴う検査方法、基準値、報告単位等の変更はございません。

	新	従来
依頼コードNo.	574	同左
検査項目名	ビタミンB <sub>1</sub>	同左
統一コード	3G025-0000-019-204	同左
検査材料	血液(EDTA2Na加血)	同左
検体必要量	1.1mL	3.1mL
容器	B-34(遮光EDTA管)	B-7
検体の保存方法	凍結、遮光	同左
所要日数	6~8	同左
検査方法	HPLC法	同左
基準値	21.3~81.9	同左
報告単位	ng/mL	同左
報告範囲	1.0以下~最終値	同左
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料/判断料	262点/144点(生化学的検査(I))	同左
備考	全血のまま凍結してください。	同左

容器については19ページを参照ください。

## ● セロトニン(5-HT)

容器変更に伴い、検体必要量を変更させていただきます。

なお、この変更に伴う検査方法、基準値、報告単位等の変更はございません。

	新	従来
依頼コードNo.	638	同左
検査項目名	セロトニン	同左
統一コード	4E065-0000-019-204	同左
検査材料	血液(EDTA2K加血)	血液(EDTA2Na加血)
検体必要量	1.1mL	2.1mL
容器	B-35(全血凍結検体用)	B-7
検体の保存方法	凍結	同左
所要日数	5~11	同左
検査方法	HPLC法	同左
基準値	81.0~262.0	同左
報告単位	ng/mL	同左
報告範囲	1.0以下~最終値	同左
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料/判断料	未収載	同左
備考	全血のまま凍結してください。	同左

容器については19ページを参照ください。

● CYP2C19 2項目セット

● CYP2C19\*2(G681A)

● CYP2C19\*3(G636A)

従来試薬販売中止のため測定試薬を変更させていただきます。  
 なお、この変更に伴い、検査方法を変更させていただきます。

	新	従来
依頼コード No.	9217、7357、7358	同左
検査項目名	CYP2C19 2項目セット CYP2C19*2(G681A) CYP2C19*3(G636A)	同左
検査材料	血液	同左
検体必要量	2.0mL	同左
容器	B-30	同左
検体の保存方法	冷蔵、開封厳禁	同左
所要日数	3~10	同左
検査方法	InvaderPlus法	Invader法
検査実施料/判断料	未収載	同左

		従来						
		*1/*1	*1/*2	*1/*3	*2/*2	*2/*3	*3/*3	合計
新	*1/*1	40	0	0	0	0	0	40
	*1/*2	0	32	0	0	0	0	32
	*1/*3	0	0	13	0	0	0	13
	*2/*2	0	0	0	9	0	0	9
	*2/*3	0	0	0	0	5	0	5
	*3/*3	0	0	0	0	0	1	1
	合計	40	32	13	9	5	1	100

判定一致率 100%

自社検討資料

## ● 不規則性抗体(同種抗体)

日本輸血・細胞治療学会の「赤血球型検査(赤血球系検査)ガイドライン」等の表記に準じ、検査項目名称を変更させていただきます。

なお、この変更に伴う検査方法、基準値、報告単位等の変更はございません。

	新	従来
依頼コードNo.	906	同左
検査項目名	不規則抗体	不規則性抗体
統一コード	5H180-0000-098-101	同左
検査材料	血清及び血液 各1本提出	同左
検体必要量	血清:5.0mL、血液:3.0mL	同左
容器	血清:B-3又はB-1→S-1、血液:B-5	同左
検体の保存方法	血清:冷蔵、血液:室温	同左
所要日数	2~3	同左
検査方法	カラム凝集法(酵素法)(クームス法)	同左
基準値	(-)	同左
報告形式	別紙報告書	同左
検査実施料/判断料	162点/144点(免疫学的検査)	同左



## ● 所要日数変更一覧

アッセイスケジュールを見直し、下記検査項目の所要日数を変更させていただきます。

依頼コードNo.	検査項目名	新	従来
4238	レベチラセタム	3~5	3~6
175	17-KGS(総)	6~13	5~9
3010	17-KGS分画	6~13	5~9
3821	デヒドロエピアンドロステロン(DHEA)	9~21	8~14
7480	RPR法 半定量-髄液	2~3	2
7212	TP抗体 半定量-髄液	2~3	2
4925	コレステリルエステル転送蛋白(CETP)定量/EIA	不定期	10~17
9216	CYP2C9 2項目セット	3~14	3~10
7355	CYP2C9*2(C430T)	3~14	3~10
7356	CYP2C9*3(A1075C)	3~14	3~10
7467	ALDH2(E487K G1510A)	不定期	3~10
3455	MDR1(C3435T)	不定期	3~10
3456	MDR1(G2677T,A)	不定期	3~10
9234	ミトコンドリア遺伝子3項目セット(レーベル病)	4~12	4~10
5841	ミトコンドリア遺伝子3460変異 (mtDNA変異3460)	4~12	4~10
5842	ミトコンドリア遺伝子11778変異 (mtDNA変異11778)	4~12	4~10
5843	ミトコンドリア遺伝子14484変異 (mtDNA変異14484)	4~12	4~10
4022	ミトコンドリア遺伝子3243変異 (mtDNA変異3243)	7~16	4~14
9229	LDLレセプター遺伝子変異6項目セット	不定期	7~12
5332	LDLレセプター遺伝子変異E119K	不定期	7~12
5333	LDLレセプター遺伝子変異C317S	不定期	7~12
5334	LDLレセプター遺伝子変異1847T→C	不定期	7~12
5335	LDLレセプター遺伝子変異L547V	不定期	7~12
5336	LDLレセプター遺伝子変異P664L	不定期	7~12
5337	LDLレセプター遺伝子変異K790X	不定期	7~12
9230	コレステリルエステル転送蛋白(CETP) 遺伝子変異2項目セット	不定期	7~12
5726	コレステリルエステル転送蛋白(CETP) 遺伝子変異1452G→A変異	不定期	7~12
5727	コレステリルエステル転送蛋白(CETP) 遺伝子変異D442G変異	不定期	7~12

## 検査の受託中止

《最終受託日：2016年3月31日(木) 受付分まで》

下記項目につきまして測定試薬販売中止、項目の統合化、受託数僅少などの理由により検査受託を中止させていただきます。

ご愛用いただきました先生方にはご迷惑をお掛けいたしますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

### ●代替項目あり

受託中止項目			代替項目	
依頼コードNo.	検査項目名	中止理由	依頼コードNo.	検査項目名
6343	甲状腺刺激ホルモン(TSH)/CLIA法	項目統合のため	4892	甲状腺刺激ホルモン(TSH)/ECLIA法
598	遊離サイロキシン(FT <sub>4</sub> )/CLIA法		7238	遊離サイロキシン(FT <sub>4</sub> )/ECLIA法
3738	遊離トリヨードサイロニン(FT <sub>3</sub> )/CLIA法		7237	遊離トリヨードサイロニン(FT <sub>3</sub> )/ECLIA法
593	サイロキシン(T <sub>4</sub> )/CLIA法		7236	サイロキシン(T <sub>4</sub> )/ECLIA法
591	トリヨードサイロニン(T <sub>3</sub> )/CLIA法		6731	トリヨードサイロニン(T <sub>3</sub> )/ECLIA法
2301	カルシトニン(CT)/RIA・2抗体法		7968	カルシトニン(CT)/ECLIA法
3588	オステオカルシン(OC;BGP)/IRMA法	試薬販売中止のため	7969	オステオカルシン(OC;BGP)/ECLIA法
1661	抗Sm抗体定量/FEIA法		1993	抗Sm抗体(抗SmDp抗体)定量/FEIA法
459	リボ蛋白分画/アガロース法		12733	リボ蛋白分画/アガロース法
856	Viewアレルギー-36		11100	Viewアレルギー-39 (別途、新規受託項目としてご案内いたします)
752	抗核抗体(ANA)/蛍光抗体法半定量	検査内容変更に伴う、依頼コードNo.再設定のため(各変更内容ページもご参照ください)	11097	抗核抗体(ANA)/蛍光抗体法半定量
709	寒冷凝集反応		7396	寒冷凝集反応
3056	トロンビン・アンチトロンビン複合体(TAT)		7398	トロンビン・アンチトロンビン複合体(TAT)

### ●代替項目なし

受託中止項目			関連項目	
依頼コードNo.	検査項目名	中止理由	依頼コードNo.	検査項目名
3017	GAT(癌関連ガラクトース転移酵素)	試薬販売中止のため		なし
755	LEテスト			なし
223	虫卵/セロテープ法	採取テープ販売中止のため		なし
4245	IFN-γ産生能	受託数僅少のため		なし
4233	IL-2産生能			なし
9227	CYP2A6 6項目セット			なし
1972	CYP2A6*1B*7*8*10(3'UTR2A7)			なし
1973	CYP2A6*4(del)			なし
1974	CYP2A6*7*10(T1412C)			なし
1981	CYP2A6*8*10(G1454T)			なし
1982	CYP2A6*9(T-48G)			なし
1983	CYP2A6*11(T670C)			なし
9222	CYP2B6 5項目セット			なし
1611	CYP2B6*2(C64T)			なし
1612	CYP2B6*8*13(A415G)			なし
1613	CYP2B6*6*7*9*13(G516T)			なし
1614	CYP2B6*4*6*7*13(A785G)			なし
1615	CYP2B6*5*7(C1459T)			なし
9223	CYP1A2 2項目セット			なし
3207	CYP1A2*1C(G-3860A)			なし
3208	CYP1A2*1F(C-163A)			なし
9218	NAT2 3項目セット			なし
3447	NAT2*5(T341C)			なし
3448	NAT2*6(G590A)			なし
3449	NAT2*7(G857A)			なし
5729	ミオシリン(MYOC)遺伝子変異5項目セット			なし

## 容器の変更

《変更日：2016年4月より順次変更》

### ● ビタミンB<sub>1</sub>(チアミン)、ビタミンB<sub>2</sub>(リボフラビン)-全血

全血凍結検体の容器破損防止ならびに遮光の取り扱いを考慮し、遮光容器へ変更させていただきます。

	新	従来
容器記号	B-34	B-6、B-7
容器名	遮光EDTA管(真空採血管)	ヘパリン管(B-6)、EDTA管(B-7)
採取量	真空採血量4mL	真空採血量5mL又は10mL(B-6) 真空採血量5mL又は7mL(B-7)
容器の貯蔵方法	室温	同左
有効期間	製造後 1年6か月	製造後 2年
内容	EDTA2Na(遮光)	ヘパリンNa(B-6)、EDTA2Na(B-7)
主な適用検査項目	ビタミンB <sub>1</sub> (チアミン) ビタミンB <sub>2</sub> (リボフラビン)-全血	(多項目)
容器画像		

### ● シクロスポリン、タクロリムス、セロトニン

全血凍結検体の容器破損防止のため、容器を変更させていただきます。

	新	従来
容器記号	B-35	B-7
容器名	全血凍結検体用(真空採血管)	EDTA管
採取量	真空採血量2mL	真空採血量5mL又は7mL
容器の貯蔵方法	室温	同左
有効期間	製造後 1年	製造後 2年
内容	EDTA2K	EDTA2Na
主な適用検査項目	シクロスポリン タクロリムス セロトニン	(多項目)
容器画像	